

平成22年12月21日

平成21年度 金沢大学の動物実験等の実施状況に関する点検及び評価について

金沢大学では、動物実験委員会において平成21年度の本学における動物実験等の実施状況などについて研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省告示第七十一号。以下「基本指針」という）と適合しているかについて点検・評価を行いました。

その結果、全体的には概ね基本指針に適合していましたが、一部に改善の余地が認められたところではあります。それらについては具体的な改善の方針を立てた上で、今後もさらなる動物実験の適正化に向けて取り組んでまいります。

なお、点検項目及びその評価、また浮かび上がった主な課題とその改善の方針は以下のとおりです。

【I. 規程及び体制等の整備状況について】

1. 学内規程について

動物実験等に関する学内の諸規程は基本指針に適合して策定されている。

2. 動物実験委員会について

動物実験委員会は基本指針に示された有識者により構成して設置されており、必要な業務を実施している。

3. 動物実験の実施体制について

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制は、基本指針に適合して整備されている。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

安全管理に注意を要する動物実験（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験、物理的・化学的に危険な動物実験、飼育環境の保全等）の実施体制は、基本指針に適合して整備されているが、飼養保管施設外実験室で遺伝子組換え実験が行われる場合の審査において、動物実験委員会及び遺伝子組換え実験安全委員会の2つの委員会が所掌しているため手続きが煩雑であった。平成22年度には、実験室としての要件を確認するための写真を、両委員会で共有することとしたので改善されている。

5. 実験動物の飼養保管の体制

実験動物の飼育保管体制は適正に整備されているが、各飼養保管施設における微生物モニタリング等の実施要件（実施方法及び全ての飼養保管施設を微生物モニタリングの実施対象とするのか）について検討の余地がある。そのため、平成22年度から「飼養保管施設利用状況報告書」において、定期又は不定期に微生物モニタリングを実施している場合はその実施内容を記載させることとし、報告内容を基に、実施要件について検討する。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会について

動物実験委員会は、学内の諸規程に定められた機能を果たしている。

2. 動物実験の実施状況

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告は、概ね適正に実施されているが、「動物実験実施報告書」について、学内規程の提出期限を大幅に遅れて提出された実験計画が散見された。引き続き、実験計画の継続の手続きについて継続的に周知徹底する必要がある。また、次年度からは6月末日ま

で、必要手続きが行われていない実験計画については、一律に部局長あてに提出依頼することとする。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況について

遺伝子組換え動物実験、感染動物実験、物理的・化学的に危険な動物実験等は、安全・適切に実施されている。

4. 実験動物の飼養保管状況について

実験動物の飼養保管は、飼養保管手順書等により適正に行われている。

5. 施設等の維持管理の状況について

飼養保管施設は適正に維持管理されている。

6. 教育訓練の実施状況

全学の基礎講習及び各飼養保管施設における教育訓練については概ね適正に実施されているが、各飼養保管施設からの訓練実施報告書の形式が統一されていない。そのため、必要事項の記載漏れ及び提出漏れの防止の観点からフォーマットを作成する。また、各飼養保管施設での教育訓練受講歴を確認できるよう受講者リストをデータ管理することとする。

平成21年度 動物実験等に関する状況

【動物実験計画の申請・審査、届出状況】

- 申請：287 課題，323 計画
 - ・承認：308 件（初年度計画 92 件（修正承認による失効 5 件含む））
 - ・取下：11 件（継続計画 4 件—うち 1 件の報告書提出は 2010 年度に持越／新規計画 7 件）
 - ・否承認：3 件
 - ・不受理：1 件（修正計画）
 - ・予備審査／委員会によるコメント件数：152 課題（不備指摘等 211 回，督促等 55 回）
- 届出：7 件（カエル 2 件／魚類 5 件）

- 部局別計画件数（承認計画 303 件中）
 - ・人間社会研究域：11
 - ・理工研究域：0
 - ・医薬保健研究域：230（医学系：168（基礎：53／臨床：115），保健学系：30，薬学系：32）
 - ・がん研究所：28
 - ・学際科学実験センター：13
 - ・環日本海域環境研究センター：3
 - ・保健管理センター：4
 - ・子どものこころの発達研究センター：1
 - ・フロンティアサイエンス機構：13

- 飼養保管施設別計画件数
 - ・学際セ・実験動物研究施設：250（単独：183／併用：67）
 - （併用施設）薬学部動物室：17，RI 動物室：21，医学部動物室：25，
 - 看護科学領域動物飼育室：7，眼科学動物室：1，麻酔蘇生学動物室：1，
 - 遺伝子研究施設感染動物室：1
 - ・学際セ・アイソトープ総合研究施設動物室：23
 - ・学際セ・遺伝子研究施設感染動物室：4
 - ・部局共用 薬学部動物室：27
 - 医学部動物室：27
 - 看護科学領域動物飼育室：8
 - ・研究室専用 理学療法学動物室（専攻内共用）：13
 - 心理学動物飼育室：7
 - 保健実験動物飼育室：4
 - 眼科学教室動物室：3
 - 人間適応制御動物飼育実験室：2
 - 神経分布路形態形成学研究室：2
 - 麻酔蘇生学動物室：1
 - ・飼養保管施設を使用しない計画：6

- 動物種別計画件数（承認計画 303 件中）
 - ・マウス：180

- ・ラット：89
- ・ウサギ：18
- ・ブタ：5
- ・モルモット：3
- ・イヌ：3
- ・サル：1
- ・スンクス：2
- ・スナネズミ：1
- ・爬虫類（カメ）：1

●安全管理を要した実験（複数事項が含まれる計画書があるため、合計は303件にはならない）

- ・P1A：109
- ・P2A：15
- ・BSL-1：1
- ・BSL-2：2
- ・有害物質投与：22
- ・ヒト材料取扱い：3
- ・X線照射/撮影：33
- ・ラジオアイソトープ投与：25
- ・麻薬等取扱い：16
- ・物理的に危険な実験（ギロチンの使用）：5
- ・以上の該当無し：126

【飼養保管施設・実験室の設置状況（平成21年度末時点）】

- ・飼養保管施設：14
- ・魚類または両生類のみを飼養する飼養保管施設：5
- ・飼養保管施設外実験室：48

【教育訓練について】

- ・講習名称：実験動物研究施設新規利用者講習（金沢大学動物実験基礎講習）
- ・講習時間：2時間20分、講師：学際科学実験センター・准教授、助教
- ・講習内容：動物実験関連法規制解説および動物実験概論 80分、学内手続・基本作業解説 60分
- ・受講者数：8回開催（春期3回、臨時5回）、合計245名